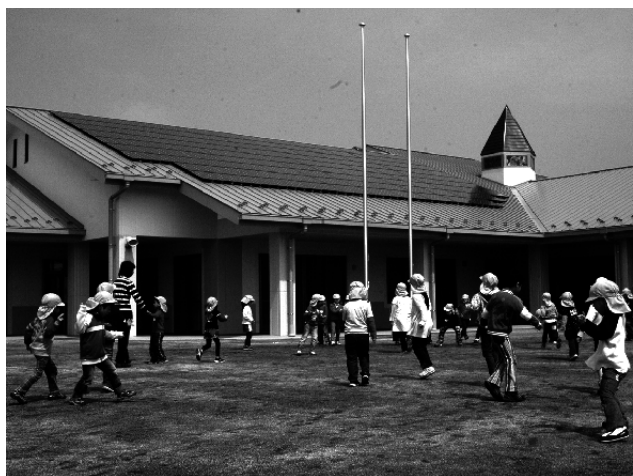


一般質問



新市建設計画により整備されたゆづかみ保育園

新市建設計画事業の進捗について

質問(高野礼子議員) 新市建設計画に計上された事業の進捗状況について伺います。

答弁(市長) 三市町村の合併に伴い、平成十七年十一月に策定されました新市建設計画は、新生大田原市のまちづくりの基本的な方針を定めたものであり、三市町村の速やかな一体性の確立を図るとともに、地域の個性を生かしながら、均衡ある発展と住民福祉の向上を図ろうとするものであります。

新市建設計画は八つの基本政

策に基づき体系化された三十八施策があり、それぞれの施策にはその内容と主な事業が掲載されており、計画策定に当たりましては、合併協議会で重要な建設事業を協議しており、五十九事業を新市建設計画主要事業案としてまとめられております。

主要五十九事業の地域別の内訳は、共通事業の四事業のほか、大田原地区の二十二事業、湯津上地区の十事業、黒羽地区の二十三事業であります。進捗状況は、平成二十三年七月末現在で完了し

ました事業が三十一事業、一部供用開始及び実施中の事業が十八事業、今後着手予定事業が十事業となっております。東日本大震災や関係地権者との問題、遺跡調査等、当初想定していなかった問題等により遅れ気味の事業はございますが、おおむね順調に進んでいると考えております。

今後の取り組みにつきましては、合併特例債の発行期限が五年度間延長され、平成三十二年までとなり、実施期間に若干の余裕が生じましたが、施行中の事業を確実に進めてまいりますとともに、未着手の事業につきましても、早期着工に努めてまいりたいと考えております。

学校図書館の整備状況について

質問(小池利雄議員) 学校図書館の整備状況について伺います。

答弁(教育長) 文部科学省が実施した学校図書館図書標準に基づき、蔵書冊数の達成率調査により、平成二十一年度末現在、全国で目標を達成している小学校は50.6%、中学校で42.7%となっております。

また、栃木県全体では小学校73.3%、中学校68.5%となっており、栃木県の蔵書の達成率は全国平均を上回っている状況となっております。

のない予算措置をしていると考えております。

今後は、子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰された西原小学校での保護者ボランティア等による読み聞かせの積極的な取り組み事例が、ありますので、子供たちの読書にかかわるボランティアの導入や朝の読書など、子供の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにするために不可欠なことのできないものでありますので、学校図書館の充実に向け、計画的に今後とも予算化を図ってまいりたいと考えております。

本市におきましては、平成二十

年度末の蔵書状況調査の結果、小学校が100%、中学校が88.9%の達成率となっており、全国並びに県を上回る結果となっております。また、本市の今年度の学校図書館図書購入予算措置といたしましては、児童一人当たり千七百七十一円、生徒一人当たり二千九百五十四円を計上しております。この予算措置につきましては、近隣の市と比較いたしまして、他市予算額よりは大きく上回っておりますし、全国的に見ても遜色



西原小学校におけるボランティアによる読み聞かせ